

第 65 回 コンパス調剤薬局 スキルアップ勉強会

2016.12.22 川原

アレルギー性鼻炎に対するロイコトリエン受容体拮抗薬 モンテルカスト錠「ニプロ」 について

ニプロ株式会社 様

参加者：阿部、伊藤、梅津、川原、作佐部、佐藤（綾）、佐藤（直）、水谷、華岡先生
（敬称略、五十音順）

【はじめに】

アレルギー性疾患は、外部の抗原（アレルゲン）に対する過剰な免疫応答により、皮膚や粘膜に炎症ができ、発疹や鼻炎、喘息など、様々な症状を発現する病態の総称である。アレルゲンによって、皮膚疾患、呼吸器疾患、消化器疾患など、症状や疫学はさまざまだが、中でも花粉による花粉症は罹患率が高く、日本人の30%に上ると推察され、増加の一途をたどっている。その主症状は、くしゃみ、鼻閉、鼻漏であり、花粉症の3大症状と呼ばれている。いずれも命のかかわるような症状ではないが、夜間の鼻閉による睡眠障害、くしゃみや鼻漏による集中力欠如や作業効率の低下など、QOLを著しく障害する要因となり、治療必要性は極めて高い疾患であると考えられる。また、花粉症のシーズンは1年を通して存在し、服用期間も長くなる場合が多いため、治療薬にはその効き目に加え、より安価で飲みやすい製剤が望まれている。

【効能・効果】

気管支喘息、アレルギー性鼻炎

【用法・用量】

・気管支喘息

通常、成人にはモンテルカストとして10mgを1日1回就寝前に経口投与する。

・アレルギー性鼻炎

通常、成人にはモンテルカストとして5～10mgを1日1回就寝前に経口投与する。

【使用上の注意】

- ・本剤投与により効果が認められない場合には、漫然と長期にわたり投与しないように注意すること。

【考察】

・モンテルカストを含む薬剤としては、キプレス、シングレアとして花粉症をはじめとするアレルギー性鼻炎に対するエビデンスが十分確立されている。しかしなが

ら、両剤は1錠¥203.5と薬価が高く、継続して服用することが望ましい抗アレルギー薬としては短所と言える。対してモンテルカスト錠10mg「ニプロ」は、両剤と比較すると1錠¥81.4と大変安価となっている。そのため、慢性的な鼻炎を罹る患者様としても服薬を続けやすく、また医療費削減にも貢献できるものと考えられる。

以上